

東近江市のまちづくり協議会

平成29年度 各地区の取り組み



まちづくり協議会誕生の経緯

平成17年2月11日 1市4町が合併し、東近江市誕生
 平成18年1月1日 さらに2町が合併し、現在の東近江市の形に



合併により、スケールメリットを活かした効率的な行政運営が可能に



しかし…

各地区の個性や伝統文化が失われるのでは？
 少子高齢化や人口の減少により、十分な行政サービスは困難になっていくのでは？

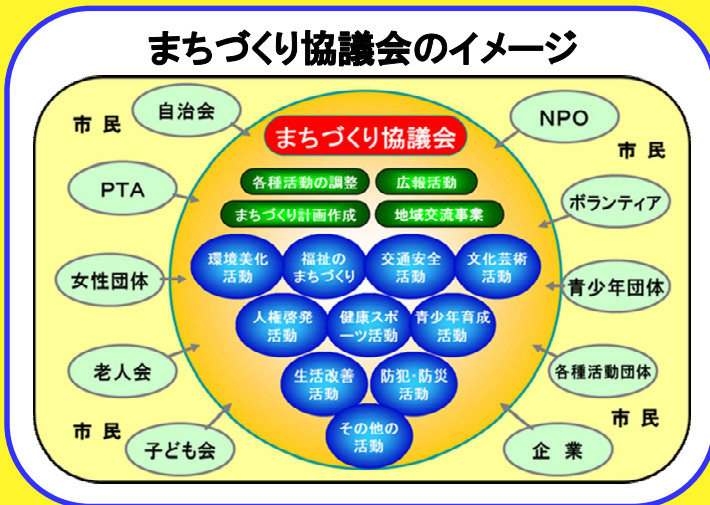


そこで…

という不安が…

市民が自主的に参加して、それぞれの地域課題を解決し、各地域の個性を活かしたまちづくりを行うため、東近江市の14地区それぞれで「**まちづくり協議会**」が組織されました。その活動は、防災・防犯・環境・福祉など多岐に渡り、地域のためという熱い思いにより、ボランティア精神で行われています。

まちづくり協議会のイメージ



まちづくり協議会は、地域を構成する市民やさまざまな活動団体が参加・連携をして、包括的なまちづくりに取り組んでいます。

また、それぞれの地区のまちづくり協議会では、各地域の特色や地域課題に応じて、まちづくり計画を策定し、その計画にもとづいて、まちづくり活動を実施しています。

各まちづくり協議会の活動の一部

分野	事業内容
環境	生ごみ減量化、大型金属資源回収、廃食用油回収、里山保全活動、街道整備事業、街路樹植栽管理、市の花ムラサキの栽培、都市公園の指定管理、獣害対策
福祉	命のバトン、婚活支援、子育て支援、冒険遊び場、あったかサロン、配食サービス
安全・安心 (防災・防犯)	防災講演会、防災訓練、かまどベンチ作製及び作製支援、自主防災活動リーダー研修会、防犯パトロール、スクールガード、わんわんパトロール隊、DIG 出前講座
文化・歴史	歴史冊子・マップづくり、歴史看板の設置、歴史探訪ウォーク、地域の歴史を学ぶ講座、地域の暮らしの始まりを心象絵図に描く、蒲生野万葉短歌会
健康・スポーツ	健康料理教室、健康講座、ふれあいウォーキング
交通	ちょこっとバス利用促進事業
教育	学校・園支援ボランティア活動、生涯学習、通学合宿
市民交流	地区イベント、ふれあいコンサート、朝市、縁側カフェ、歌声喫茶

コミュニティセンターの指定管理と協働のまちづくり条例

平成23年1月1日に、平田地区まちづくり協議会による平田コミュニティセンターの指定管理が開始されたのを皮切りに、平成26年4月1日からは14地区すべてのコミュニティセンターで、まちづくり協議会による指定管理が開始されています。

また、平成26年4月には、「協働のまちづくり条例」が施行され、その中で、まちづくり協議会の位置づけ等も定められました。まちづくり協議会は、まちづくりに包括的に取り組む団体として、また、行政の重要な協働のパートナーとして、ますます活躍が期待されています。(裏表紙に条例の抜粋を掲載)



▲ 指定管理運営開始式での鍵の受け渡し

まちづくり協議会の設立日及びコミュニティセンター指定管理開始日

協議会名	地区内人口 (人)	協議会設立日	コミュニティセンター 指定管理開始日
平田地区まちづくり協議会	3,174	平成17年12月23日	平成23年1月1日
市辺地区まちづくり協議会	4,239	平成19年2月25日	平成23年10月1日
玉緒地区まちづくり協議会	4,866	平成18年12月10日	平成24年1月1日
御園地区まちづくり協議会	8,753	平成18年10月21日	平成24年10月1日
建部地区まちづくり協議会	3,057	平成18年2月25日	平成23年10月1日
中野地区まちづくり協議会	7,730	平成18年12月9日	平成24年4月1日
八日市地区まちづくり協議会	6,155	平成18年12月2日	平成24年4月1日
南部地区まちづくり協議会	7,889	平成17年9月19日	平成23年4月1日
永源寺地区まちづくり協議会	5,408	平成17年9月30日	平成26年4月1日
五個荘地区まちづくり協議会	11,877	平成18年3月18日	平成25年4月1日
愛東地区まちづくり協議会	4,834	平成17年5月21日	平成24年10月1日
湖東地区まちづくり協議会	8,642	平成17年7月14日	平成24年4月1日
(一社)能登川地区まちづくり協議会	23,356	平成19年3月10日	平成24年4月1日
蒲生地区まちづくり協議会	14,882	平成18年11月18日	平成25年4月1日

※人口は、平成29年10月1日現在

※(一社)能登川地区まちづくり協議会は平成25年4月1日に法人化しているため、上記の設立日及び指定管理開始日は、法人化前の能登川地区まちづくり協議会の設立及び開始日。



▲ 広報誌はすべての地区で定期的に発行中

14地区のまちづくり協議会合同で実施している交流会
地域担当職員も議論に参加 ▼



▲ 蒲生地区まちづくり協議会がふるさとづくり大賞で団体表彰(総務大臣賞)に選ばれました

● 平田地区まちづくり協議会

(愛称) ひらた夢回議

(テーマ、スローガン) 歴史と水と緑あふれる平田地区、夢を語り未来につなごう！

【平成29年度】

設立日	平成17年12月23日	認定日(当初)	平成18年1月16日
コミセン指定 管理開始日	平成23年1月1日	認定日(条例に よる認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市下羽田 84-5 平田コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-22-1950 〈IP番号〉 050-8034-1950 〈E-mail〉 hirata-co@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://hiratayumekaigi.web.fc2.com/main1.html		
代表者	会長 藤田 英夫	会員数	地区住民
会議・組織	本会役員 会長、副会長3人、会計、事務局長、公園管理運営業務主任者 会計監事2人 評議委員会 自治会長12人 運営委員会 本会役員(会計監事を除く)、専門部会長、団体会員の長		
予算等の概要	一般会計 2,110千円 指定管理会計 3,591千円(雪野山歴史公園・華岳山公園) // 12,550千円(平田コミュニティセンター)		
情報紙の発行	平田のみんなの情報誌「ひらたから」(A4版) 毎月発行 発行部数 1千部/月 主な内容 活動報告、行事案内、お知らせ 等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>■自治会連合会と連携強化 事務局長がコミセン館長を兼務し、自治会連合会と連携を密に効果的な事業推進ができるよう努めている。 また、毎年1回自治連とまち協の合同研修会や協働のまちづくり会議を開催している。</p> <p>■防災フェアの実施 10月28日(土)、平田地区30人と市内外関係者35人が参加し、市内の給食調理員さんに手伝ってもらい、いざという時に役立つ、大鍋を使った炊飯や、豚汁の大量調理実習、段ボールトイレの制作実習などを行いました。</p>		



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【平田幼稚園跡地等を考える委員会】

平成26年12月から「平田幼稚園跡地等を考える委員会」を組織し、幼稚園跡地及び周辺施設の一体的整備を検討してきました。平成29年度は、新しいコミュニティセンター建設計画を中心に検討を行い、平田地区住民の思いを「新しい平田コミュニティセンターをめざして」という報告書にまとめました。



【広報】

平田のみんなの情報誌「ひらたから」を毎月発行しています。

【ひらた夢朝市】

ひらた夢朝市は、毎月第1、第3日曜日に定期開催しています。平田地区の農産物を食べることで、ふれあい交流を広げ、地産地消の推進に取り組んでいます。



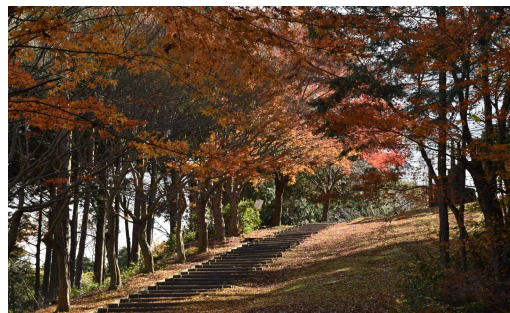
【子育て応援】

0歳～就園前の子どもとその保護者がこのサークルに参加し、親子で一緒に遊びながら、育児の悩みや不安、喜び等を自由におしゃべりして、交流を深めています。

【施設管理運営】

雪野山歴史公園・華岳山公園の管理をしています。

華岳山公園は四季折々の景観が素晴らしく、近場の隠れた魅力スポットであるため、利用者を増やすため、案内チラシを作成し、学校等に配布しました。



【里山再生】

雪野山歴史公園周辺の里山林や雪野山古墳に通じる散策路の下草刈りなどを行いました。

【雪野山歴史まつり】

8月6日（日）、第15回雪野山歴史まつりを開催しました。

今年は一般参加の「武将の部」、自治会対抗の「領主の部」、小学4～6年生限定の「若侍の部」に県内外から合わせて21チーム、約100人が参加しました。



● 市辺地区まちづくり協議会

(愛称) 万葉のまち 市辺

(テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住みつづけたい

【平成29年度】

設立日	平成19年2月25日	認定日(当初)	平成19年3月1日
コミセン指定 管理開始日	平成23年10月1日	認定日(条例 による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市市辺町2391番地 市辺コミュニティセンター内 〈IP番号・FAX〉050-5802-3392 〈E-mail〉info@ichinobe.com 〈ホームページ〉http://www.ichinobe.com/		
会議・組織	役員会 8人(会長・副会長・事務局長・コミセン業務主任者・会計・会計監事) 運営委員会39人(役員・全自治会長・各種団体代表・まちづくり部会長) まちづくり部会 97人《広報(7) 自然環境(35) 地域活力(12) 歴史・文化(12) 安全・安心(12) 健康・福祉(8) こども健全育成(11)》		
代表者	会長 須田 智廣	会員数	107人
予算等の概要	一般会計 2,080千円 市辺コミュニティセンター指定管理会計 12,337千円		
情報紙の発行	まち協広報誌「万葉のまち市辺」39号、40号、41号、42号を発行 〈主な内容〉「マクロビオティック」「コンポスト、市辺農園」「凧作り」 「市辺歴史発見塾」「蒲生野万葉短歌会」「ムラサキ栽培」 「防災マップ・AED講習」		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	○指定管理 ・まち協、各種団体と協働した事業展開に積極的に取り組みました。 ○組織運営 ・不定期ですが役員会議及び正副部長会議を開催し、各部会の活動状況を共有、また各部の課題解決の為の協議をしました。 ○自治会連合会や各種団体との連携 ・自治会連合会の協力を頂き、まち協役員・安全安心部会メンバーとで、『減災のまちづくりプロジェクト』2年目の活動が活発に開催(11回) ○まちづくり活動のPR ・まちづくり計画書(改定版)を全戸配布。新計画書での取組がスタート。 ・蒲生野万葉短歌会 第五回、一般の部 88首、小中学の部 1,665首 ・万葉フェスタ 台風22号で中止もミニフェスタ(万葉のこり福)開催 ・市辺歴史発見塾 5回シリーズ(講座・DVD・御代参街道・他) ・生ごみの減量 コンポスト普及活動・市辺農園芋ほり等 ・マクロビオティック 健康食品料理勉強会(酵母パン・ラジオ体操第三) ・こども健全育成講座 親子でミニ凧作り ・ゆるキャラPR 10/31文化祭で展示		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介



ムラサキ植栽
(船岡山公園)



子ども夏祭り
(市辺コミセン)

普通救命(AED)講習



市辺歴史発見塾
(市辺コミセン)



わくわくこらぼ村
(アピア 4F)



第5回蒲生野万葉短歌会入選
作品展示 (市辺コミセン)



市辺コミセン防災研修旅行
(中部電力川越発電所)



ミニ万葉フェスタ「のこり福」
(市辺コミセン)



減災のまちづくりプロジェクト



親子で凧作り(市辺コミセン)
凧揚げ大会(市辺グラウンド)



マクロビオ
ティック料理 (市辺コ
ミセン)



● 玉緒地区まちづくり協議会

(愛称) ハートフル玉緒

(テーマ、スローガン)『自然と共生し、みんなで創る輝く玉緒』



【平成29年度】

設立日	平成18年12月10日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン指定管理開始日	平成24年1月1日	認定日(条例による認定)	平成28年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉東近江市大森町1030番地 玉緒コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-22-6479 〈IP番号〉050-5801-6479 〈E-mail〉tamaomachi02@gmail.com		
代表者	会長 辰巳 育男	会員数	まちづくり委員 59人
会議・組織	まちづくり協議会 会長(自治連会長) 副会長2人(前年自治連会長・まちづくり委員会代表) 事務局長(コミセン館長兼務)・事務局次長・会計・会計監事2人 まちづくり協議会全体部会 ハートフル玉緒自主防犯隊(137人) まちづくり委員会 (コミセン指定管理後に協議会事業引き継ぐ) 代表・副代表2人・事務局長・会計・会計監査2人 計7人 運営委員会 役員・専門部会正副部会長・担当委員・コミセン館長 計17人 専門部会 環境保全整備部会・歴史教育部会・健康スポーツ福祉部会・広報部会		
予算等の概要	一般会計 2,250千円(交付金1,673千円 その他577千円) 指定管理会計 12,600千円(指定管理料11,563千円,その他1,037千円)		
情報紙の発行	まちの情報誌「ハートフル玉緒」年3回発行(37~39号予定)し、 その他の月は、コミセン「玉緒だより」と合併号。発行部数1,500部 まちづくり協議会(委員会)活動報告、文化・歴史・地域等の紹介、ドクターに聞く連載など。		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	まちづくり協議会活動 ①コミセンの指定管理に伴う、管理運営を行う。 ②協議会が、自治連・各種団体と共に3大事業(夏祭り・運動会・文化祭)の企画~運営を行っている。 ③「ハートフル玉緒自主防犯隊」による地域パトロールの実施。 自治連・各種団体が地域全体事業として、防犯・防災・安心の為に青パトカーによる巡回を実施。 ④自治連・各団体が、地域教育協議会の玉緒いきいき塾「通学合宿」を支援。 まちづくり委員会活動 ①環境保全整備部会 里山整備、桜並木の整備(自治連・各種団体と協働)、里山フェスティバル(親子ふれあい活動)、玉緒小の里山体験授業の支援。 ②地域歴史教育文化部会(玉緒史跡ウォーキング、文化活動の啓蒙・実施、玉緒・布引小の課外学習支援・玉緒幼稚園の里山保育支援。) ③健康スポーツ福祉部会(3B体操、体力測定・健康講座開催) ④広報部会(地域の情報発信)、Facebook 講座開催。 ⑤ハートフルコンサートの開催(みんなで歌おう)		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

① 玉緒地区夏祭り 8月5日(土)
今年で6回目を迎え、夏の恒例行事としてすっかり定着してきました。子供から大人まで400人余りが参加し、各種団体のバザーや、オープニングの太鼓演奏・キッズダンスを楽しみ、クライマックスの江州音頭は、多くの踊り手でにぎわいました。



② 玉緒地区市民大運動会 10月8日(日)
秋晴れの下、玉緒小グラウンドで住民500人余りが参加、各自治会対抗で競技し、住民交流で楽しい1日を過ごしました。



③ 第9回 里山フェスティバル 7月15日(土)
布引山の里山広場で、親子130人余りが、カブト掴み体験や遊び、バザーを楽しみました。



④ 健康講座(3B体操) 6,7月実施
毎回十数人が参加、ベルダー・ポール・ベルの道具を使い、音楽に合わせていい汗を掻き、すっかり肩こりもなくなりました。



⑤ たまお史跡ウォーキング(春・秋各1回)
10月12日(木)、住民三十数人が参加し、長浜市の石田三成生誕地から、三成ゆかりの観音寺を訪れ、米原市三島池まで6.4kmを歩いて、湖北の秋を満喫しました。



⑥ 玉緒小学校4年生 第8回里山体験授業
11月21日、里山広場で木を切ったり、マキ割りなど体験授業の支援をしました。児童たちにとって貴重な体験となりました。



⑦ ハートフルコンサート 12月2日(土)
住民六十数人参加、きれいなオカリナ演奏を聴いた後、みんなで歌おうで楽しみました。



● 御園地区まちづくり協議会

【平成29年度】

設立日	平成18年10月21日	認定日（当初）	平成18年10月30日
コミセン指定 管理開始日	平成24年10月1日	認定日（条例に よる認定）	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市五智町 351-2 御園コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-22-0503 〈IP 電話〉 050-8034-0503 〈E-mail〉 misono-c@e-omi.ne.jp （御園コミュニティセンター）		
代表者	会長 小森 秀樹	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 7人（会長、副会長2人、顧問 事務局長） 運営委員会 34人（役員、各自治会会長、各活動部会長、会計、顧問） 活動部会 <ul style="list-style-type: none"> ・企画運営部、広報部 ・まち協独自の活動は防犯ボランティアパトロール（青パト） 生ごみを宝の山、かきみそのチャオ、秋まつり実行委員会、 運動会実行委員会等 		
予算等の概要	一般会計 2,431千円 指定管理会計 12,383千円		
情報紙の発行	【まち協みその】A4版4～8ページ 毎月発行 発行部数 2,200部/回 ・まち協、自治連、コミュニティセンター、各種団体の広報紙としてひとつ にまとめた情報紙発行 ・主な内容：まち協、自治連、各種団体（子ども会、老ク連、体協、人権協、青少 年育成会、社協等）、コミュニティセンターの活動紹介、まちの話題など		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>組織運営 会長は前年度の自治会連合会の会長が就任、当年度自治会連合会の会長は副会長となる。議決機関である運営委員会の委員に自治会長全員が就任することで、まちづくり協議会と自治会連合会との連携が図られています。また、まちづくり協議会の役員が地域の代表であることが住民の皆さんに認識されています。</p> <p>指定管理 まちづくり協議会と自治会連合会の事務局をコミュニティセンターに置き、事務局長をコミュニティセンター館長が兼任することで、コミュニティセンターをまちづくりの拠点とした活動ができています。</p> <p>各種団体との連携 毎年、まちづくり協議会では各種団体に地域活性化の活動提案を募り、事業費の支援を行うとともに共催事業を行っています。今年度は5団体とコラボしました。</p> <p>まちづくり協議会新しい取組 今年度、中学生以上の全住民へのまちづくりアンケート調査を実施、「地域の大切にしたい事や困りごと」を解決するための活動を開始しました。まちづくり協議会に参加したい方々との交流会や、小学校と地域が協働で出来る事を話し合う「意見交換会」をテーマ別に開催し、新たな取組を検討しています。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1、御園地区まちづくりの推進

1-1 おしゃべりカフェ（交流会）



▲まち協に参加の意思を示された方と御園地区のことを話し合いました。

1-2 学校支援意見交換会（円卓会議）



▲学校の困りごとについて協働できる事を話し合う意見交換会を4回実施しました。

2、防犯のまちづくり事業

2-1 防犯ボランティアパトロール



▲青パトで地区内全域を2回/週巡回しています。



▲新タイプの青パトを購入しました。

3、廃棄物削減事業



▲ダンボールコンポスト（生ごみのたい肥化）及び木製コンポスト（落ち葉・雑草・剪定葉のたい肥化）の普及活動を行っています。

4、地域活性化事業

4-1 地区市民大運動会の開催



▲10月8日 地区市民大運動会を開催しました。今年度は晴天に恵まれ、各自治会が一丸となって競技に取り組んでいました。

4-2 地区秋まつりの開催



▲11月6日 地区秋まつりを開催しました。御園小学校グラウンドで、豪華ステージショーや25の模擬店で賑わい、3000人が参加しました。



5、教育文化活動（かき御園チャオグループ）

5-1 電車でお出かけ



▲近江鉄道に乗って武佐町のガラス工房へ。サンドブラスト体験でマイグラスを作りました。

5-2 段ボールでピザ作り



▲みんなで協力して段ボールを使ったピザ釜を作り、手作りのピザを焼いて食べました。

6、獣害対策事業



▲農作物や家庭菜園で害獣の被害が多発しているため、獣害対策講習会を6月6日に行いました。

● 建部地区まちづくり協議会

(スローガン)『建部に生まれ、育ち、住んで良かったと言われる郷(さと)づくり』
【平成29年度】

設立日	平成18年2月25日	認定日(当初)	平成18年3月2日
コミセン指定 管理開始日	平成23年10月1日	認定日(条例に よる認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市建部日吉町31番地 建部コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-22-0303 〈IP番号〉050-5801-0303 〈E-mail〉tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 小泉 登喜夫	会員数	個人会員55人、団体会員12団体
会議・組織	評議委員会 18人(自治会長) 運営委員会 17人(地域団体代表者、まち協役員) 役員会 14人(会長、副会長3人、事務局長、会計、部会長4人、 コミセン館長、地域担当職員3人) 専門部会 4部会(環境美化、歴史文化、健康福祉、広報) 会員の範囲(建部地区に居住する住民で構成) ・個人会員(本会の趣旨に賛同し、参加する個人)55人 ・団体会員(自治会連合会及び本会の趣旨に賛同する地域団体)12団体		
予算等の概要	・一般会計 1,993千円(交付金1,288千円、自治会連合会助成 金100千円、繰越金404千円、その他201千円) ・指定管理会計 12,618千円		
情報紙の発行	地域の身近な情報誌として「建部だより」を毎月1回発行(年12回) A4版4~6頁(カラー) 発行部数1,000部/回		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>1. まち協役員および推進体制</p> <p>①役員会は次の14人で構成する。会長1人、副会長3人、事務局長1人、 会計1人、コミセン館長1人、専門部会長4人、地域担当職員3人</p> <p>②役員会の活性化 役員会を毎月定期的に開催する。議論を活発化させ、効率良く行うため、 毎回議題を事前に通知し、会議資料を充実させ、議事録を発行する。</p> <p>2. 自治連、各地域団体との連携</p> <p>①自治会連合会の会長がまち協の副会長に 就任することで自治連との連携を図る。</p> <p>②12の地域団体長とまち協役員が、まち 協の運営に関し定期的に協議する。</p> <p>③まち協の企画・運営および総会提出議案 について意見を求めるため、自治会長で 構成する評議委員会を必要に応じ開催。</p> <p>3. 研修事業の推進 まち協会員および地域団体関係者を対象とした先進地研修を6月29日 に実施。滋賀県危機管理センターを訪問し、防災・減災について学び、安全 で安心なまちづくりに生かしていく。</p> <p>4. コミュニティセンターの指定管理の進捗状況</p> <p>①指定管理の開始から7年目を迎え、地域住民の身近な施設として、また、 地域の皆さんに気軽に利用していただくため、開かれた施設運営を目指 して取り組んでいく。</p> <p>②施設の設備改修や環境整備を行い、利便性の向上に努めていく。</p> <p>③コミセンに対する地域住民の意見を募り、今後の運営に反映していく。</p>		



まちづくり活動等の取り組み紹介

1. 建部里まつりの開催（6月4日）

住民が交流し、相互理解を深めるため、「森を学び・森で遊び・森で食す」をテーマに第3回建部里まつりを河辺いきものの森で開催しました。森の探検、クイズラリー、木のジャングルジムや竹の薄切り大会、木工遊びなどを楽しみました。お昼には羽釜で炊いたかやくご飯や豚汁をおいしくいただきました。また、コーヒー、クッキー、パンの販売、無料のかき氷、ポン菓子などもあり、子どもから大人までが初夏の1日を楽しく過ごしました。



2. 建部三大まつりへの参画

実行委員会形式で行われている建部三大まつりに参画し、先導的役割を果たしました。

- ①ふるさと夏まつり（7月29日） 焼き鳥の販売や、大根射的ゲームを行いました。
- ②地区運動会は雨によるグラウンド不良で中止になりました。（10月8日）
- ③町民祭（11月12日） 豚汁・焼き鳥の販売や手作りのスマートボール、柿の皮むき機の展示を行いました。

3. 建部幼稚園グラウンドの芝生管理支援

平成27年に建部幼稚園と協働してグラウンドに芝生を植えました。その後は芝刈りや冬芝種まき等の作業を支援し、園児に喜んでもらっています。



4. 環境美化事業への取り組み

- ①生ゴミの減量化を図るため、ダンボールコンポストに取組みました。ダンボールコンポスト講習会を開催（7月24日、9月15日、10月20日）
- ②植樹箇所およびポケットパークの草刈、コミセン前庭の剪定作業を年2回実施（6月10日、10月7日）
- ③愛知川左岸堤防のごみ拾い（12月3日）
- ④コミセン周辺の年末清掃（12月22日）



5. 歴史文化事業への取り組み

- ①地元の歴史文化を学ぶ一環として、建部地区に多く点在する古墳を市文化財担当者の案内で回りました。（2月26日）
- ②歴史探訪として岡崎の大樹寺を訪ねました。（11月25日）日吉金賞寺のご住職とご縁のある大樹寺を訪れ、徳川家にまつわる多数の文化財を見学しました。
- ③歴史講座の開催（2月24日） 神山氏（日吉神社宮司）を講師にお招きし、古くから伝わる神社の習わしや氏子との関係についてお話をいただきました。



6. 健康福祉事業への取り組み

- ①子ども見守り活動として、毎月2回、3カ所でまち協会員による交通立番を行いました。
- ②健康寿命を延ばし高齢期を元気に楽しく過ごせるよう、「ロコモ健康教室」を年10回開催しました。体幹トレーニングや軽スポーツに取組みました。
- ③命のバトンの普及活動として、建部地区全戸に命のバトンの紹介し、配布希望者を募りました。



7. 広報活動への取り組み

建部の良さと、コミセンやまち協の活動を広く知ってもらうため、「建部だより」をコミセンと共同で毎月発行しています。29年度は建部地区にある寺院や神社を取材し、掲載しました。



● 中野地区まちづくり協議会

(愛称) なかのよいまち

(テーマ、スローガン) みんなでつくる なかの よいまち

【平成29年度】

設立日	平成18年12月9日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン指定 管理開始日	平成23年4月1日	認定日(条例に よる認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市中野町781番地5 中野コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-22-0154 〈IP番号〉050-5802-2311 〈E-mail〉nakano-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	代表 田中 常雄		
会議・組織	役員26人(運営委員、監査) 運営委員24人(代表、副代表、事務局長、会計、幹事) まちづくり委員39人(自治会選出、公募委員) 総会構成人員109人(まちづくり委員、自治会長、各種団体長、市担当職員) ○まちあるき [°] [°] 外 ○歴史探訪 [°] [°] 外 ○山と川保全推進 [°] [°] 外 ○50年森整備 ○おすそわけ ○椋の木保全 ○広報委員会○婚活		
予算等の概要	一般会計 2,760千円(内交付金1,997千円、自治会補助金30千円) 指定管理会計 11,763千円 特別会計 3,153千円(基金会計)		
情報紙の発行	まちの情報紙「中野地区まちづくり協議会 広報紙」A4版4ページ 年4回発行(6月、9月、1月、3月) 発行部数2,500部/回 〈主な内容〉地域に身近でホットなニュース、いま・むかしコーナー、特産品の紹介、サークル紹介、まち協事業、まち協総会報告等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などでPR できること	<p>中野コミュニティセンターの指定管理を受託したことから、自治会連合会との連携を強め、中野地区のまちづくりを進めています。</p> <p>今年度は昨年から取り組んだ婚活事業をより身近なものにするため実行委員会を充実してきました。</p> <p>中野地区の3大事業として、自治会連合会、各種団体が実行委員会で開催していた、夏まつり・運動会・文化祭の実行委員としてまち協役員が関わり、企画段階からも参画をしてきています。また、まちづくり協議会の大きな事業である「50年森整備事業」には、自治会連合会が獲得した資源を活用し一定の成果を内外から受けています。今年度は、子どもの社会活動を進める地球ハートヴィレッジとの協働で多くの事業に取り組むことができました。</p> <p>まちづくり協議会の発足準備段階から続けてきた、毎月7日の「円卓会議」は住民が自由な立場で中野地区のまちづくりを語り合う場として続いてきています。この場で議論になったことを運営委員会に反映し、新規事業に繋がるなど、中野地区の夢を語る場としてより発展させたいと思っています。</p> <p>市職員が地域担当として関わっていただき、より幅広い活動が進められる環境が整いました。また新しい地域活動拠点が創出され、地域のNPOなどと連携の輪が広まってきました。こうした連携をFBページ等で共有し互いに発信しあうことで多くの人に伝えることが可能になりました。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介

・文化祭前夜祭と「婚活事業」



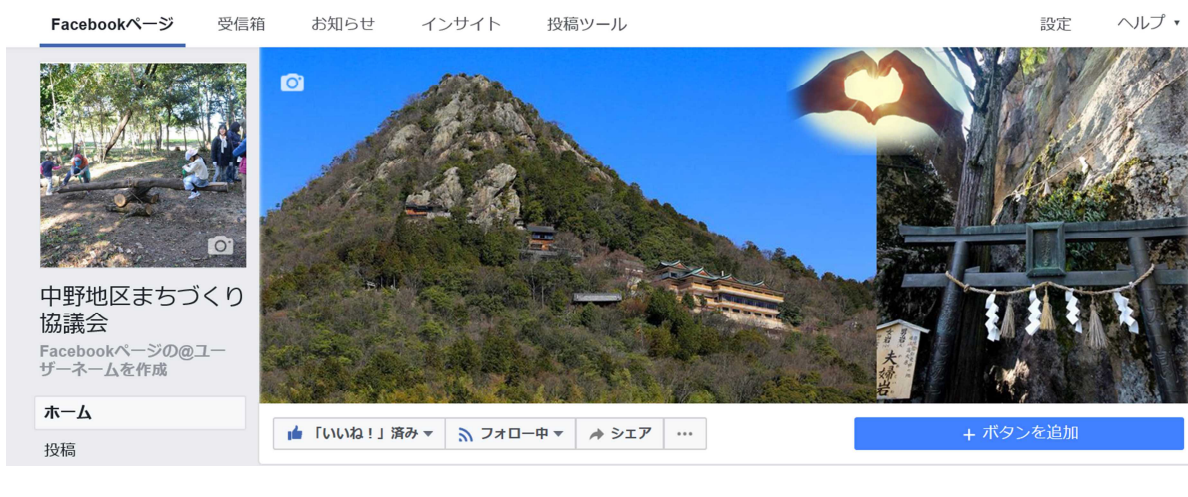
・今年度の総会を経て事業が開始します。中野まち協の円卓会議は毎月7日に開催。



・中野まち協お得意の「から揚げ」です。夏祭りや文化祭では大活躍します。




・FBページで情報発信。



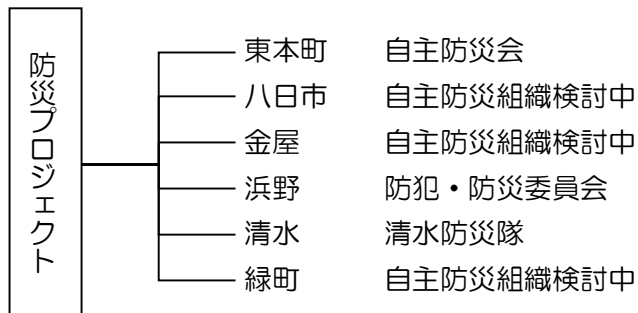
● 八日市地区まちづくり協議会

【平成29年度】

設立日	平成18年12月2日	認定日（当初）	平成18年12月5日
コミセン指定 管理開始日	平成24年4月1日	認定日（条例 による認定）	平成28年4月1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市八日市町9-20 八日市コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-23-4120 〈IP番号〉 050-8034-1141 〈e-mail〉 ykaich-c@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 https://www.facebook.com/yokaichimachi 八日市冒険遊び場 http://yokaichiplaypark.shiga-saku.net</p> 		
代表者	代表 高村 修	会員数	全住民が対象
会議・組織	<p>執行役員会 年4回（代表、副代表2人、常任理事3人、事務局長、会計、 コミセン館長） 理事会 年4回（総自治会長6人、コミセン部会5人、プロジェクト部 会7人、会員より3人） 広報委員会 年4回（編集委員長1人、委員5人） プロジェクト…延命夢クラブ、箕作山麓里・山づくり、八日市冒険遊び場、 花いっぱい、いきいきあったかさサロン、子育て支援、八日市 つながり、清水川湧遊、防災、歴史文化、イーストレインポー</p>		
予算等の概要	<p>一般会計 1,942千円 指定管理会計 14,580千円 特別会計 4,300千円</p>		
情報紙の発行	<p>八日市まち協だより A4版4ページ 年4回発行 発行部数 2400部/回 主な内容：まち協の活動報告、わがまち探訪、きらり～この人～、 八日市ピンポイント、各プロジェクトの活動報告、 コミュニティセンターの事業報告、各総区（自治会）紹介</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などでPR できること	<p>八日市地区まちづくり協議会では、新たに防災プロジェクトを発足させま した。八日市地区の6総自治会の内3総自治会には自主防災組織があり防災 避難訓練等が行われています。未組織の総自治会においても年1回の避難訓 練は行われています。防災プロジェクトでは事業計画として、防災組織未設 置の総自治会に対する支援、防災資機材の設置と確認、避難所となった場合 の運営方法、防災研修の企画実施などを予定しています。</p> <p>また、歴史文化プロジェクトを立ち上げ、ふるさと絵屏風をつくることにな りました。ふるさと絵屏風は、昔の記憶を思い出し、写真や資料集め、聞 き取りやまち歩きなどをして、なつかしいふるさとの様子を絵にするもの で、過去を知ること未来のまちづくりに繋げていこうとするものです。</p> <p>八日市地区まちづくり計画の見直しについては、計画の実施状況を検証 し、30年度の策定を目指します。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介
新規プロジェクト

・防災プロジェクトの概要



D I G（災害図上訓練）研修会の開催

平成30年3月4日にD I Gの研修会を開催しました。



災害発生時の行動を検証



狭い道路などを地図に書き込み

・歴史文化プロジェクトの発足

3月3日に歴史文化プロジェクト講演会を開催

「過去を育てて 未来をつくる ～ふるさと絵屏風でまちづくり～」

講師：上田洋平氏 滋賀県立大学地域共生センター助教



ふるさと五感アンケートに記入してもらうことからプロジェクトが始まります。多くの方々にアンケートを書いていただき、それに基づき聞き取りを行い、下絵図を経て絵屏風は完成します。絵屏風が出来ただけで終わるのではなく、それをもとに地域について学び、未来につなげていくことが大切です。

● 南部地区まちづくり協議会

(愛称) ときめく南部(まち)

(テーマ、スローガン) 誰もが笑顔で暮らし、活力あふれるまち

【平成29年度】

設立日	平成17年9月19日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン指定 管理開始日	平成23年4月1日	認定日(条例に よる認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市中野2丁目1番34号 南部コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-23-1573 〈IP番号〉050-8034-1573 〈E-mail〉nanbumachikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉現在リニューアル中。平成30年度当初に公開予定		
代表者	会長 森 基一	会員数	76人
会議・組織	役員会6人(会長、副会長3人、事務局長、会計)(内副会長1人は自治連会長) 運営委員会17人(役員、専門部会長(兼務有)コミセン館長、地域担当職員) 評議委員会30人(役員、地区内自治会長14人、各種団团长10人) 拡大運営委員会 運営委員全員 会員の範囲 趣旨に賛同する個人、各自治会からの推薦者、各自治会(団体会員)		
予算等の概要	一般会計 2,190千円 指定管理会計 12,160千円 特別会計 2,710千円(ダンボールコンポスト)		
情報紙の発行	1. まち協会員向けA4両面版「ホットニュース」毎月25日発行 事業日程並びに参加案内及びイベント案内 2. 南部地区内総合広報紙「南部だより」毎月発行に、トピックス及び実施 事業案内を掲載		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	1. 地区内4大イベント(南部まつり、納涼夏祭り、運動会、文化祭)への 協力と参画 2. 可燃ごみ減量化と循環型社会づくりを目指す各種コンポスト事業の強化 継続、再資源可能物コーナーの管理運営継続 3. 休耕田を活用し野菜栽培を通じて、地域の児童等とのふれあいを深める 4. 市立南小学校長期休み(年3回)期間における学習支援活動への協力 5. 市立南小学校子ども森の維持管理 6. 安全・安心のまちづくり推進に伴う各種事業の実施等 <ul style="list-style-type: none"> ・シニア層を対象とした専門講座の開設 ・毎月2回(交通安全日)通学路交差点における交通安全立ち番と子ども 達への挨拶運動の継続実施 ・地域美化活動として毎月一回道路沿いのゴミ拾い ・命のバトンの配布事業を継続中。全戸に再PR ・地域住民福祉活動計画の一環として「ほっとまちカフェ」の運営 南部(なんぶ)地区にちなみ毎月7日に開催 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1. コミュニティセンターの運営管理
 - ・毎週土曜日午前中開館（職員の輪番制にて）
 - ・休日貸館の管理
 - ・コミュニティセンター内外環境の整備、維持管理
2. 地域住民へのPR活動を強化し意見調整の場を設け、充実した活動の展開
 - ・先進地研修等の企画推進
3. “なんぶまちづくり”のHPのリニューアル構築中
 - ・意見集約と管理体制の確立
4. 南部地区の防災・減災
 - ・自治会、地区社協、自主防災組織等との連携
 - ・自主防災組織未設立自治会への働きかけ
5. 少子高齢化時代に役立つ地域風土作り
 - ・老若男女が集える場づくりで、ほっとまちカフェを継続
 - ・地域特性を踏まえた住民参加による支え合いづくりの推進
 - ・粋・生きサロンで和服リフォームを通じて、生きがいづくり
 - ・命のバトン配布事業の推進
6. 住民の環境意識を高め、ごみ全体の減量化から、収集経費及び処理費用軽減の節約
 - ・各種コンポスト事業の普及啓発活動の推進
 - ・「生ごみ堆肥講座・菜園講座」の開催を通じて、堆肥の活用方法を啓発
 - ・資源ごみの分別収集を推進し、再資源化を協力に進める
7. 男女・年齢を問わず皆が集い、学び趣味を生かせる場作り
 - ・愛犬家による地域パトロール
 - ・休耕田を活用した野菜の収穫体験学習や子ども森で焼き芋体験
 - ・3R（リフォーム・リユース・リサイクル）を積極的に推進
 - ・学習支援活動（べんきょうしよう会）で学習の習慣づけ
 - ・あびこ（挨拶・美化・交通安全）活動の継続展開
8. 地域の成り立ち学習
 - ・「心象沖野開拓絵図」を活用して、南部地区の歴史と成り立ちを伝承
八日市南小学校4年生の総合学習で実施



焼き芋体験



夏まつり

● 永源寺地区まちづくり協議会

(愛称) We Are The One “みんなでひとつ“

(テーマ、スローガン) 『里いっぱい 新 呼吸 笑顔のまち えいげんじ』

【平成29年度】

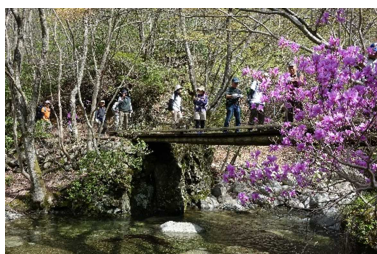
設立日	平成17年9月30日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン指定 管理開始日	平成26年4月1日	認定日(条例に よる認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市山上町 1316 番地 永源寺コミュニティセンター内 〈IP 番号・FAX〉 050-5802-9336 〈E-mail〉 e-net6500@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/		
代表者	会長 山田 重三	会員数	79人
会議・組織	役員会(会長、副会長、監事)6人 随時開催 運営委員会(役員、部会長、会長が指名した者) 概ね月1回開催 専門部会 6部会 随時開催		
予算等の概要	◆29年度予算総額 6,510千円 収入内訳 交付金3,214千円、受入負担金340千円、事業収入425千円、 受入拠出金800千円、受託料1,172千円 ほか 支出内訳 広報費600千円、まちづくり計画部会活動費300千円、 まちづくり計画事業推進費3,200千円、受託事業費1,172千円、 活動負担金660千円、まち協事務局費450千円 ほか		
情報紙の発行	e- NET6500 年6回発行 A4/最大12頁 カラー(現在:NO.77) (まちの話題、まちきょうだより、クローズアップ他) e- NET6500 情報版 毎月発行 A4/4頁 白黒(現在:NO.153) (イベント告知、くらしのカレンダー、学校・園だより、コミセンだより他) ホームページ 随時更新		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	「自らの地域は自ら考え自ら行動していく」を基本に、地区の伝統文化を再 発見し継承していくと共に、次代を担う人材を地域の子育て団体と協力し、地 域活力を生み出す、そんなまちづくりをめざす。 ○地域の良さを再認識し、継承していく取り組み ・千草街道の整備及びわがまち探訪(千草街道を往く) ・きらり!えいげんじ再発見事業・もみじ街道整備(白ヤシオの観察) ・大本山永源寺のライトアップ ○環境にやさしいまちづくりへの取り組み ・ゴミの分別意識の高揚(エコキャップ、プルトップ、割り箸等の回収) ・大型金属資源回収 ・花と緑に囲まれたまちづくり(花苗の配布) ○情報誌などを通じ、地域の連携を深め地域福祉の推進を図る。 ・子育て応援事業 ・みんなの夏休み(夏祭り) ・みんなのふるさと祭り 地域固有の資源を活用して活動することにより、地域の良さをみんなで共 有し、地域に対する誇りと愛着心の醸成に繋げていく。 まち協をより多くの住民が参画しやすい組織にするため、事業やイベント を企画・運営することについて、各自治会、「道の駅 奥永源寺溪流の里」、 地区内の関係団体等と連携を深め、永源寺地区の一体化を図る。		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介

- 平成 26 年 4 月 1 日より永源寺コミュニティセンターを指定管理しており、コミセン事業とも連携したまちづくりに取り組んでいる。
- 文化の薫る個性あるまちづくりを進めてきたが、さらに磨きをかけ永源寺の魅力を高めるために関連するイベントの開催、登山コースの整備、花いっぱい運動などを実施する。
- 古くからもみじの名所として知られている永源寺で、更にもみじにこだわり、もみじを生かしたまちづくりを進める。国道 421 号に沿って石樽トンネルから永源寺までをもみじ街道として景観形成を図る。
- 情報誌の充実により、まちづくりに取り組んでいるまちづくり協議会や各種団体の活動を紹介し、地区住民への参加および啓発を呼び掛ける。

活動の紹介

千草街道を往く（雪のため中止）



自然観察（白ヤシオ観察）



ごみゼロ大作戦



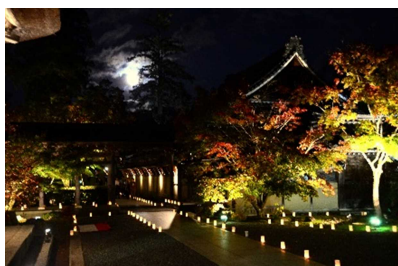
みんなの夏休み



大型金属資源ゴミ回収作業



永源寺ライトアップ（ともしびミニライブの開催）





● 五個荘地区まちづくり協議会

(愛称) GO!まち協

(テーマ、スローガン) 心イキイキはつらつと みんなが愉しむまちづくり

【平成29年度】

設立日	平成18年3月18日	認定日(当初)	平成18年3月23日
コミセン指定 管理開始日	平成25年4月1日	認定日(条例によ る認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市五個荘小幡町 318 五個荘コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-48-7303 〈IP 番号〉 050-5801-7303 〈FAX〉 0748-48-6454 〈E-mail〉 go-machikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉  〈フェイスブック〉 		
代表者	会長 小杉 勇	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 8人(会長、副会長、顧問、事務局長、館長、副館長) 運営委員会 25人(役員、各事業部正副部長、有識者) 事業部会 安心・安全部会13人、環境部会10人、 歴史・文化部会16人、地域福祉部会22人、情報誌部会9人 地域担当職員6人、地域活動応援83人 自治会推薦推進員49人 構成員 五個荘地区に在住、在勤する全ての人と地域の活動団体		
予算等の概要	平成29年度予算総額 6,980千円 収入内訳 前年度繰越金1,289千円 交付金3,081千円 委託料 1,481千円 諸収入1,129千円 五個荘コミュニティセンター指定管理会計 30,000千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌「GO!まち協」 A4版8ページ 奇数月 年6回発行 発行部数 4,000部/1回 〈主な内容〉 特集、まちの話題、ひと・まち・団体の紹介、行事予定 他		
指定管理や組織 運営で工夫して いることや、地 区で最も重視し て取り組んでい る活動	<p>五個荘地区まちづくり協議会は、設立12年目を迎え、今日まで「住みよ いまち、住みたいまち、住みつづけたいまち」を目指して事業活動を展開し てきました。</p> <p>人口減少と偏在化、少子高齢化によって自治会など地縁団体の機能が低下 し、行政が施策目的別に結成を推進してきた各種団体も、高齢化や担い手不 足に苦しんでいます。五個荘地区まちづくり協議会は、行政の専門的な知識 と豊富なノウハウを持つ「地域担当職員」の皆様と共に様々な地域課題を共 有し、自治会連合会や地区社会福祉協議会をはじめ各種団体との連携を一層 深め、「参画」と「協働」を運営の基本とし、地域課題の解決に持てる力を注 ぎます。</p> <p>主要テーマを「防災・減災」、「地域福祉」「歴史・文化の継承と発展」「環 境」「コミュニティセンターの生涯学習の充実」として地域の活性化を推進し ています。</p> <p>さらに、先輩の皆様が取り組んでこられた「五個荘地区まちづくり201 0年プラン」が平成29年度末で終了します。これまで進めてきた「五個荘 地区まちづくり2010年プラン」に基づく進捗状況等を検証し、地域の課 題を踏まえ、地区の特性を生かした新たなまちづくりを展望する「第二次五 個荘地区まちづくり2030年プラン」の策定に着手しています。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【安心・安全事業部会】

◇「五個荘地区総合防災訓練」を開催

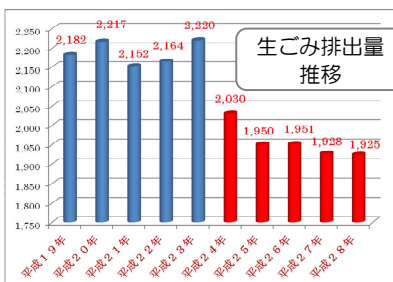
東近江市消防団、全自治会、五個荘中学校、各種団体も参加し大規模な訓練になりました。



【環境事業部】

◇「ダンボールコンポスト」の推進(講習会の開催など)

平成 23 年に生ごみ減量化活動の取り組みを始めてから、可燃ごみの★排出量 1,316 トン ★処理費用 4,340 万円減らすことが出来ました！(23 年度比)



◇大型金属資源回収(年3回実施)

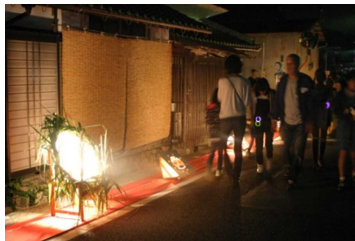
延べ 100 人のボランティアの協力で年間約 21 トンの金属資源を回収しています。



【歴史・文化事業部】

◇「中山道灯り路」

中山道沿線 3 km を創作行灯 2,500 基が秋の夜を彩ります。約 6 千人が訪れる魅力的なイベントに育っています。



◇「中山道石塚一里塚」 建立

旅人の道しるべとしてお江戸日本橋から 123 里に再建しました。



【地域福祉事業部】

◇てんびんの里ふれあい広場

五個荘地区最大のイベントとして約 5 千人の来場者で賑わいました。



◇歌声喫茶「びーちくパーク」

ピアノの生演奏に合わせてみんなで楽しく歌います。



◇てんびんの里わくわく広場

昔の遊びを通して地域の人とふれあいました。



【情報誌事業部】

◇「GO!まち協」発行

まちの話題や行事予定等地域の情報満載。「五個荘クイズ」も大人気。



ぼく「てんびん坊や」です。まち協広報マンとしてがんばっています！



● 愛東地区まちづくり協議会

(愛 称) 愛の田園ネット

(テーマ、スローガン) 「あいとう大好き! あいとうのやさしさを未来につなごう」

【平成29年度】

設立日	平成17年5月21日	認定日(当初)	平成17年7月21日
コミセン指定 管理開始日	平成24年10月1日	認定日(条例に よる認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市下中野町431番地 愛東コミュニティーセンター内 〈電話番号・IP番号〉 050-5802-8614 〈FAX〉 0749-46-2270 〈E-mail〉 machinet@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://members.e-omi.ne.jp/machinet/		
代表者	会長 村山 邦博	会員数	114(個人・家族・自治会)
会議・組織	役員 10人(会長、副会長、監事、事務局長、事務局次長、館長、顧問) 運営委員会 24人(役員、専門部会長、地域おこし協力隊、地域職員等) 評議員 22人(自治会長) まちづくり委員 22人(各自治会) [専門部会] 広報部、防災部、自治まちづくり部、地域ふれあい活動部、花 づくり部、イベントサポートプロジェクト、ちょこっとバスプロジェクト、 若者のまちづくりプロジェクト、福祉プロジェクト、愛のまち交流プロジェ クト、愛東住みたいプロジェクト、獣害対策プロジェクト		
予算等の概要	一般会計 4,510千円 指定管理会計 29,154千円		
情報紙の発行	元気なまちづくり情報誌「愛の田園だより」 A4版8ページ 毎月発行 発行部数1,500部/月 〈主な内容〉特集、地域の話題、イベント、コミュニティーセンターの情報等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	愛東地区自治会連合会、愛東地区まちづくり協議会、東近江市愛東支所の三 位一体のまちづくりを進めてきました。 ○安心と安全の大切さを訴えるまちづくりを実施しました。 ・ロケットストーブ、ぬかくどによる各地区自治会への出前災害炊出し、実 演会の実施及び防災講演会をしました。 ・8月10日をバトンの日として、「命のバトン」を強化、推進しました。 ・愛東独自の気象システムをフル活用して、日頃の異常気象情報を共有して、 地域の方々の災害に対する意識の高まりを図りました。 ○花いっぱい活動で「彩りのある田園」「安らぐ田園」をつくりました。 ・水やり省カプランターを更に進化させ、「長方形の水やり省カプランター」 を100個増設し、美しい愛東地区の景観づくりをしました。 ○愛東地区のために奮闘いただく「志(こころざし)」のある人、組織を応援 および協力依頼しました。 ・空き家対策に奮闘する人、組織、また地域おこし協力隊を応援しました。 レイカディア大学に景観作業を協力依頼しました。 ○未来を託す若者に夢とエールを送りました。 ・二十歳の集いに祝砲花火をプレゼントし、成人者に祝意を伝えました。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

元気で楽しんでもらえるコミュニティーセンター活動の実施

「愛の田園あいとう」のまちづくりのなかの「愛東の個性をつくる」「生きがいをエンジョイする」「コミュニティをつくる」の三本柱をもとに、愛東住民が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」事業を行った。

みんなで創る情報誌「愛の田園だより」の発行・ホームページ・ブログの運営

地域の情報を地区民と共有するために、毎月情報誌を発行している。コミセンとコラボして、よりよい新鮮な情報の提供にも努めた。また告知放送で閲読を促した。



あいとう三大イベントの開催

○あいとう夏まつり 2017

7月29日（土） バザー出店〇〇店 来場者 約 1,800 人

ステージイベント（若鮎太鼓、命のバトンPR イベント、吉本爆笑トークショー、バンドライブ、バザー大賞&大抽選会、花火）分別コーナー設置によるゴミ省力化を実施した。

○あいとう秋まつり 2017

10月26日（木）～29日（日） あいとう文化まつり（愛東地区文化協会 作品展）

10月29日（日） バザー出店 10 店（雨のため縮小）来場者約 500 人

ステージイベント（上方落語、マジック、曲芸、大抽選会等）ミニパフォーマンズ他

○出前サンタとイルミネーション

子どもたちに夢を与えられるよう、自治会などで取り組まれているクリスマス会にまち協からサンタを派遣。今年度も、保育園、幼稚園、集落など10カ所から要請を受けた。



イルミネーションは、コミセン前に12月10日から1月14日まで点灯した。

イベントなどへの模擬店の出店

まち協や万灯祭、スポーツフェスティバルなどのイベントに模擬店の出店を行い盛り上げた。

命のバトンPR

各家庭の冷蔵庫に設置してもらうため、お祭りなどのイベントでメッセージコンテストの開催等、広報活動の強化に努めた。そして、継続して実施してもらうために、8月10日を「バトンの日」と決め、バトン用紙の内容を書き換えて新しい情報をバトンの筒に入れていただくように努めた。現在愛東地区での設置率は80%。また、12月9日のコラボ村に出展しPRした。



愛のつく町との交流

北海道愛別町との交流事業を行う。あいとう夏まつりには、愛別町の小学生が来訪。トウモロコシを販売しました。9月10日には、愛別町の「きのこの里フェスティバル」に参加して、梨、ぶどうを販売しました。

空き家の有効利用

移住者交流会を実施し、意見交換で交流を深めた。また、東近江市の空き家情報をもとに空き家見学会を開催した。

獣害対策

獣害啓発活動を行い、1月27日に先進地研修（三重県名張市）を開催した。

ドキュメンタリー映画の制作

新作ドキュメント映画を作成した。そして滋賀国際映画祭の準備も始めている。



● 湖東地区まちづくり協議会

(愛称) 好きやねん湖東

(テーマ、スローガン) いきいき ほのほの わくわく あったか湖東時間

【平成29年度】

設立日	平成17年7月14日	認定日(当初)	平成17年9月20日
コミセン指定 管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例に よる認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市池庄町 495 番地 湖東コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0749-45-0950 〈IP 番号〉 050-5801-0950 〈FAX〉 0749-45-2049 〈E-mail〉 suki-koto@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://www.sukisuki-koto.jp/		
代表者	会長 小島 善雄	会員数	地区内市民が対象
会議・組織	総会、理事会、運営委員会、まちづくり検討委員会、まちづくり推進員会議 部会 広報部会、防災コミュニティ部会、みどり環境部会、湖東企画部会 プロジェクト まちカフェプロジェクト、湖東歴史文化プロジェクト		
予算等の概要	一般会計 5,370千円 指定管理会計 29,800千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌『好きやねん湖東』 毎月1回発行 コミュニティセンターと共同編集、発行部数2,700部/月、A4版4面 〈主な内容〉表紙には話題となった写真コメント、まち協の活動紹介、地域の 活動紹介、話題の人、コミュニティセンター関係記事など		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>◎ 自治会との連携 理事には今年度の自治連会長と、各自治会まちづくり推進員から3人に就任していただいています。自治会長や各種団体の皆さんに輪転機や大型プリンターを利用していただいているため、まち協に頻繁に足を運んでいただいています。</p> <p>◎ 各種団体との連携 各種団体からも4人、まち協の理事に就任していただいています。団体の活動、事業など、広報で紹介しています。</p> <p>◎ 災害に強いまちづくり 自主防災組織連絡協議会の発足に向けて、3回のワークショップを実施しました。次年度発足を予定しています。</p> <p style="text-align: center;">DIG 出前講座の様子→</p>		



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

★ まちづくり計画改訂

前年度より取り組んでいるまちづくり計画改訂。今年度は完結させるため、仕上げの作業に入っています。湖東まち協メンバー、各種団体、そして住民の皆さんとさらに連携を深め、湖東地区のまちづくり活動 協働の輪を拡げていきたいと考えています。



まちづくり計画改訂ワークショップの様子

★ 理事会 随時 理事会を開催

★ 運営委員会 月1回程度開催

★ 広報部会

広報『好きやねん湖東』の取材・編集・発行、ホームページの管理をしています。

★ 防災コミュニティ部会

DIG 出前講座、防災マップ作成講座、防災教室、防災運動会のプロデュース、防災食体験など、地域住民の防災意識向上に楽しく取り組んでいます。

★ みどり環境部会

グリーンカーテンの苗を種から育て、希望者に配布しました。また資源ゴミ回収を年に2回行っています。今年度からゴミカレンダー拡大版を作成し、高齢者世帯と希望者に配布しました。福祉部会、民生委員さんにも加わっていただき、次年度分を作成しました。



配布した苗で出来た
グリーンカーテン

★ 福祉部会

福祉懇談会の開催や高齢者の方を対象にした市内見学、見守りも兼ねた季節の味お届けサービスの実施。また、自治会に対し、福祉用具の助成や活動助成を行っています。

★ 湖東企画部会

コトナリエ2017（実行委員会制）、ことうふるさとまつり（実行委員会制）の開催、『おうちにサンタがやってきた！』の実施。

★ まちカフェプロジェクト

毎月2回のカフェは、主に子育て中の親子や高齢者の方が利用してくださっています。ミニ講座や技芸も好評です。また、同じ施設でカラオケを楽しんでおられる方々に、飲み物を提供しています。カフェ以外にも、未就学児を対象にした「ちびっこゆうすずみ会」や、夏休み中の小学生を対象にした「残った宿題を終わらせよう」を実施しました。大変好評でたくさんの方に参加していただきました。



ちびっこゆうすずみ会の様子

★ 湖東歴史文化プロジェクト

湖東地区の“むかし”について、講座を3回開催しました。稲作に適した土地として開発し、守ってきた長い歴史を持つ“ゆたかな土地”湖東。新しい世代とともにこの地に対する思いを共有する活動を進めていく予定です。

★ コミュニティセンター運営

湖東コミュニティセンターは築37年を経過し、老朽化が進み、大規模改修を必要とされていますが、中庭エントランスの改修、照明器具や空調設備の改修を行い、利用者さんの安全確保と快適な空間作りの提供に努めています。

● 一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

(愛称) ホップ♪ステップ♪のとがわ

(テーマ、スローガン) 『住みよい 住みたい 住み続けたい 水車のまち 能登川』

【平成29年度】

設立日	平成19年3月10日	認定日(当初)	平成19年3月13日
コミセン指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	〈所在地〉東近江市躰光寺町262番地 能登川コミュニティセンター内 〈IP番号〉050-5802-2793 〈FAX〉0748-42-1556 〈e-mail〉notomatikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉http://notomatikyo.com/		
代表者	会長 藤居 正博	会員数	189人
会議・組織			
予算等の概要	一般会計	6,210千円	
	指定管理会計	62,287千円	
	予算総額	68,497千円	
情報紙の発行	まちの情報紙「ホップ♪ステップ♪のとがわ」 A4版 8ページ(カラー4、白黒4) 偶数月 年6回発行 発行部数8,500部/回(全戸配布) 会員情報紙「のとまち協NEWS」毎月1日発行(260部)		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5月、総会において、53自治会から構成する能登川地区自治会連合会の役員13人、市民活動団体から5人(うち女性3人)が理事に就任。 ○ コミュニティセンターホールで、6月に能『安達原』の公演、11月、素人創作落語大会に協賛した。⇒指定管理施設の有効利用 ○ 11月、「病院をよくする会」が、あしたのまち・くらしづくり活動賞振興奨励賞(主催:〈公財〉あしたの日本を創る協会)を受賞した。 ○ 12月、第14回 Lighting Bell in NOTOGAWA の開催に共催した。 ○ 「フラ輪プロジェクト」と銘打った能登川中学校生徒会の美化活動に協働し、JR能登川駅周辺花壇設置と水遣りの活動を継続支援した。 ○ 通年、自主防災、e防災マップづくり、DIG,HUG等の研修会開催や、自治会への出前講座等を開き、総括として活動成果発表会を開催した。 ○ その他、新たに策定した「能登川地区まちづくり計画」の新規事業に積極的に取り組んだ。(例:「まちづくりカフェ」と名付けた自治会毎の懇談) 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

広報事業部

年 6 回偶数月に発行、8500 部全戸配布します。

H29.12.1 号表紙とコミセンだより（裏面）



市政懇話会

11/21 コミセンホールで開催。地域課題の解決に向け、市と協議を行った。



まちづくり事業部

9/3 まちづくり委員さんと、東近江市の日本遺産めぐり研修を行った。写真は奥永源寺にて。

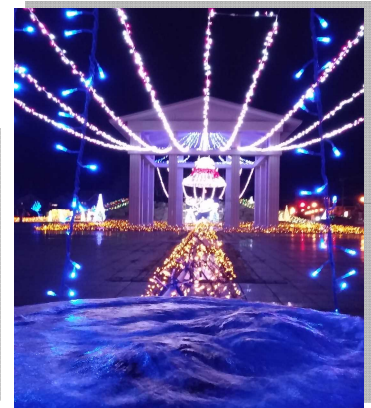


環境事業部 11/29 能登川中学校美化活動フラ輪プロジェクト支援。JR 能登川駅前を花で飾ります。フラワーボットは現在 39 基に。



第 14 回 2017 Lighting Bell in NOTOGAWA

(開催：12/16~12/24)
恒例の林中央公園を飾る 14 万個のイルミネーション



健康福祉事業部

11/3 日頃の活動を評価され、「能登川病院をよくなる会」は、あしたのまち・くらしづくり活動賞・振興奨励賞を受賞した。主催：(公財)あしたの日本を創る協会



安全・安心事業部

12/16 自主防災活動成果発表会を開き、各自治会の日頃の成果を共有し、その活用を検討した。今年襲来した 3 つの台風の特徴等を踏まえた問題点の検討も行われた。



施設運営事業部 指定管理施設の有効利用を兼ねて、4/22 第 4 回まち協会長杯 GG 大会をやわらぎの郷公園で開催、住民の親睦交流を図る。(下右) 6/24 コミュニティセンターホールで第 2 回能装束着付実演と能『安達原』の公演(下左)を協賛、古典文化に触れる能登川中学生 230 名を招待した。館内は 590 名の観客で満席。(下中)



● 蒲生地区まちづくり協議会

(テーマ、スローガン) 『このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり』

【平成29年度】

設立日	平成18年11月18日	認定日(当初)	平成18年11月22日
コミセン指定 管理開始日	平成25年4月1日	認定日(条例に よる認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<所在地> 東近江市市子川原町 461-1 蒲生コミュニティセンター内 <電話番号・FAX> 0748-55-3030 <IP番号> 050-8035-8437 <E-mail> gamomachikyo@e-omi.ne.jp <ホームページ> http://higashio-me.com/member/gamomachikyo/		
代表者	会長 向井 隆	会員数	(H30.1.1 現在) 14,877人
会議・組織	総会 111 (自治会代表、自治会まちづくり委員、地域活動団体代表) 役員会 5 (会長、副会長、事務局長、会計、(監事除く)) 企画会議 14 (役員、特別委員会委員長、専門部会部長) 運営委員会 32 (企画会議メンバー、運営委員、自治連三役) (特別委員会) まちづくり計画推進委員会 18 広報企画委員会 5 ふるさと蒲生野川づくり委員会 28 (専門部会) ひだまり部会 8 ふれあい交流部会 12 エコランド部会 3 (他にモニター30) あかね部会 8 万葉ロマンの里づくり委員会 12 地域活性化部会 10 自治会まちづくり委員会 42 (各自治会1名選出) 蒲生まちづくり会議(自治連役員、市関係者、県・市議会議員、農協、社協、 コミセン、各種団体、まち協 他)		
予算等の概要	一般会計 12,450千円 (内会費2,100千円、交付金4,921千円、補助金1,700千円 委託金1,951千円) 指定管理会計 コミセン 38,570千円 古墳公園 1,878千円		
情報紙の発行	1 蒲生まち協の広報紙「がまチョコ」 A4版4ページ 毎月20日4,800部発行 2 FMひがしおうみ(RadioSweet)81.5MHzにて、 毎月第2土曜日11:00~(再放送 火曜日9:30~) 蒲生まち協番組「Happy Gamo」(30分)放送 <主な内容>まち協の情報、自治会のまちづくり紹介、各種団体の活動紹介等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	年間の事業は、まちづくり計画を軸に、自治会連合会とまち協が両輪とな り関係団体、企業等と連携しながら活動を展開している。その上で、 1. 自治連との連携強化の一環 自治連とまち協の合同研修会として年1回、県内各地へ視察研修を実施 (H29年度は、自治会課題の取組み先進地として彦根市下石寺町へ行く) 2. まちづくり会議の開催 蒲生地区の抱える課題等について県・市議はじめ蒲生地区の各分野で活躍 されている方々と意見交換会を開催 3. 2030年を目指し改定した「まちづくり計画書」に基づき各事業を進め るため、「がもう夢工房協議会」を立ち上げ、取り組みを行っています。 (食の六次産業化、着地型観光、援農隊)		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 本部事業

- ・蒲生コミュニティセンターと悠久の丘あかね古墳公園の管理運営を受託
- ・「蒲生まちづくり会議」の開催 ・「自治会まちづくり委員会」の開催
- ・「蒲生地区まちづくりフォーラム」の開催
- ・設立10周年記念事業（記念式典の開催、冊子「まち協10周年の歩み」作成）
- ・地域担当職員・地域応援隊との連携・あかね夏祭り実行委員会の事務局担当
- ・いきいきあかねフェア実行委員会への参画
- ・大型金属性資源回収事業の実施
- ・「新年互礼会」の開催・各種団体との懇談会開催
- ・「がもう夢工房」への参画
- ・総務省「ふるさとづくり大賞」受賞
- ・人材バンクシステムの構築・視察の受け入れ



【あかね夏祭り】



【総務大臣賞受賞】



【まちづくり会議】

2 委員会活動

(1) まちづくり計画推進委員会

- ・まちづくり計画の6つの基本方針に沿ってまちづくりを進める
- ・まちづくり計画進捗管理



【大型金属性資源回収】

(2) 広報企画委員会

- ・広報紙「がまチョコ」毎月発行
- ・FMひがしおうみ蒲生まち協放送番組“HappyGamo”毎月第2土曜日11:00から30分間放送
- ・各自治会、各種団体と連携し、情報収集



【新年互礼会】

(3) ふるさと蒲生野川づくり委員会

- ・川づくり啓発活動の取り組み（のぼり、ポスター、チラシ等）
- ・日野川および佐久良川の現状調査の実施
- ・日野川および佐久良川モデル地区の「除草作業とゴミ拾い」作業の実施 ・ふるさと美化「蒲生野の日」（第3土曜日）を定め、美化活動参加と意識向上の啓発 ・河川愛護活動知事表彰受賞



【まちづくりフォーラム】

3 部会活動

(1) ひだまり部会

- ・「安心、安全のまちづくり事業」
- ・自主防災組織の作成・マニュアルの作成、配布
- ・減災研修会の実施 ・命のバトン事業
- ・シェイクアウト訓練実施



【健康教室】

(2) ふれあい交流部会

- ・まち協音頭、健康体操の啓発（各自治会のサロンに出向き啓発促進）
- ・縁側カフェ開催時に健康相談等の窓口開催
- ・健康づくり教室開催・健康料理教室の開催・食育講座の開催
- ・検診啓発・抛り所創造事業へ参画



【河川愛護活動知事表彰】

(3) エコランド部会

- ・健康野菜いっぱい運動・コンポスト（設置型・ダンボール）の普及
- ・ゴーヤーカーテンの設置・市より生ゴミ減量化推進事業の受託



【切れ目ない子育て拠点づくり】

(4) あかね部会

- ・世代間交流事業「あかねGOSHU」企画の継続
- ・シニア世代の仲間づくり、生きがいづくり ・抛り所創造事業へ参画
- ・切れ目ない子育て拠点づくり事業（結婚活動支援事業・子育て支援事業）



【減災研修会】

(5) 万葉ロマンの里づくり部会

- ・史跡見学・「ガリ版伝承・野口謙蔵顕彰事業」の支援 ・マックスクラブ（わくわくチャレンジ探検隊）への参加 ・「がもう夢工房」と連携し「着地型観光」プロジェクト活動・観光情報のホームページ ・広報誌がまチョコに「がもうのはなし」を連載

(6) 地域活性化部会

- ・「がもう夢工房」へ活動支援・蒲生スマートインター周辺の市有地を有効利用
- ・特産品栽培管理事業（果樹の植栽・龍谷大学の指導を受け、新たな特産果樹の植栽）

東近江市協働のまちづくり条例（抜粋）

（まちづくり協議会）

第18条 まちづくり協議会とは、地区の課題解決と個性を生かしたまちづくりに取り組むため、多様な主体が参加して自主的に設置する地域自治組織をいう。

2 市は、次の各号の要件を満たすまちづくり協議会を、一地区について一団体を認定するものとする。

(1) 地区自治会連合会等の多様な主体が参画し、地区のまちづくりに包括的に取り組んでいること。

(2) 地区のすべての市民を対象としていること。

(3) 民主的な運営を行うため、規約を定めていること。

(4) 地区のまちづくりの基本方針等を定めた「地区まちづくり計画」を策定していること。

(5) 運営に当たる役員や代表者は、民主的に選出されたものであること。

(6) 運営の透明性が確保されていること。

3 市は、まちづくり協議会の認定後、前項に規定する要件を満たしていないと認められた場合は、改善を求めなければならない。

4 市は、まちづくり協議会の活動を尊重し、技術的及び財政的援助等の必要な支援を行うものとする。

5 市民は、まちづくり協議会の活動に積極的に参加し、相互の交流を深めながら協働するものとする。

6 まちづくり協議会は、地区の課題を解決するため、市及びその他の組織と協働してまちづくりを推進するものとする。

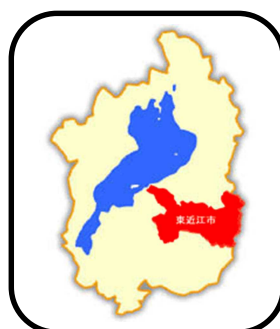
7 まちづくり協議会は、各地区コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、市と協働して運営するものとする。

東近江市は、平成17年2月11日に、1市4町（八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町）が合併して誕生しました。その後、平成18年1月1日に、蒲生町および能登川町と合併し、現在の東近江市の形になりました。

東近江市は、滋賀県の南東部に位置し、北は彦根市、愛荘町、多賀町、南は竜王町、日野町、甲賀市、西は近江八幡市と接しており、東は三重県との県境になっています。

地形は東西に細長く、東に鈴鹿山系、西に琵琶湖があり、愛知川が市域の中央を流れています。また、市の南西部には日野川が流れています。この両川の流域には平地や丘陵地が広がり、緑豊かな田園地帯を形成しています。さらに地域内には箕作山や織山などが点在し、豊かな自然に恵まれています。

また、東近江市は、額田王と大海人皇子の相聞歌の舞台となった蒲生野や、永源寺、百済寺、石塔寺など多くの古刹があることで有名です。中世以降は市場町や門前町に連なる交通の要衝の地として栄え、近世には近江商人が活躍し、多くの企業家を生んでいます。このように、東近江市はさまざまな地域との交流を通して、数多くの文化がはぐくまれてきたまちです。



【東近江市概要】

面積 388.37 平方キロメートル
人口 114,862 人
世帯数 43,350 世帯
(平成29年10月1日現在)



発行 平成30年3月

東近江市総務部まちづくり協働課
〒527-8527

滋賀県東近江市八日市緑町10番5号

TEL 0748-24-1234（代表）

<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>